

## 令和5年度の林業試験場のトピックス

- 1 令和5年度鳥取県林業試験場研究成果報告会を開催し、日頃の研究成果を情報発信しました(令和6年2月7日、新日本新聞社中部本社ホールで開催)。



- 2 森林管理研究室 矢部上席研究員が、第63回治山研究発表会で最優秀賞を受賞しました(令和5年10月4日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催)。また、2023江原世界山林エキスポ国際シンポジウムで、「鳥取県における海岸クロマツ林の再生」を報告しました(令和5年9月23日、韓国江原道で開催)。これらの功績が認められ知事表彰を受賞しています。



▲矢部上席研究員(左端から二人目)が治山研究発表会で最優秀賞を受賞



▲矢部上席研究員(右端)が知事表彰を受賞



▲世界山林エキスポ国際シンポジウムで「鳥取県の海岸クロマツ林の再生」を報告



▲鳥取県と江原道は友好提携協定に基づき交流活動を実施

3 木材利用研究室 桐林上席研究員が、「圧密化木材の製造方法」の特許を取得しました。スギ板材を圧密することで広葉樹と同等の傷つきにくさを実現します(令和6年2月1日付けで特許取得)。



4 木材利用研究室 岡本研究員が、日本木材学会中国・四国支部 第34回研究発表会で研究発表賞を受賞しました(令和5年9月8日～9日、香川県高松市で開催)。



▲岡本研究員(右端)が研究発表賞を受賞

5 林業試験場の試験研究内容の説明及び技術指導を通して、県内の学生に森林・林業の普及啓発を図りました。



▲鳥取環境大学の学生に林業試験場の試験研究を説明しました。(令和5年8月9日)



▲河原中学校(生徒3名)の職場体験学習を受け入れました。(令和5年5月16日～18日)